

「学生の健康白書 2026 (国立大学共同調査)」への協力について

保健管理センター

全国の国立大学法人の保健管理センターは、5 年ごとに共同して定期健康診断データを集計し、学生の健康実態をまとめた報告書である「学生の健康白書」を作成しています。

健康白書の作成目的は、学生の皆さんの心身の健康実態を把握し、より良い健康管理のための、基礎資料を作成することです。

健康白書 2000、2005、2010、2015、および 2021 のデータはインターネット上に公開されています。(https://www.htc.nagoya-u.ac.jp/hokenkanri/hakusho/)

提供する健康情報は、2026 年度の健康診断結果、保健管理センターの受診状況、学生相談の利用状況です。

氏名、生年月日など個人が特定できる部分を削除し、匿名化したうえで提供します。

「学生の健康白書 2026」への情報提供についてご確認いただき、ご理解とご協力をお願いいたします。なお、ご自身の情報が集計に用いられることについてご了承いただけない場合は、除外いたしますので、2026 年 11 月 30 日までに下記までお申し出ください。

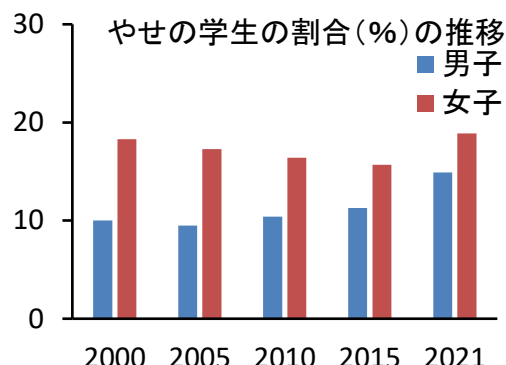
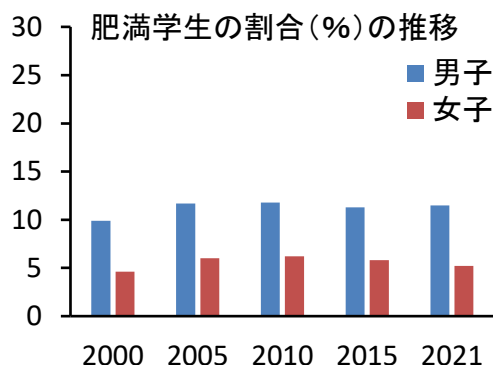
【「学生の健康白書 2026」に関する申し出先】

保健管理センター [stu-hokenc\[at\]ml.hyogo-u.ac.jp](mailto:stu-hokenc[at]ml.hyogo-u.ac.jp)

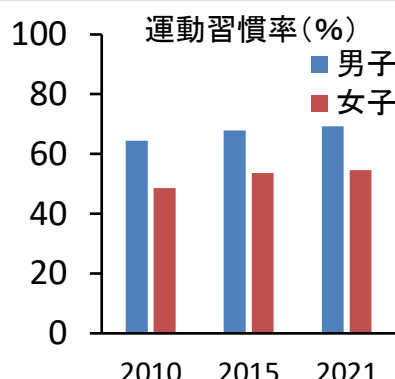
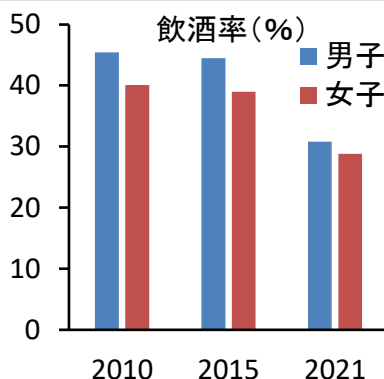
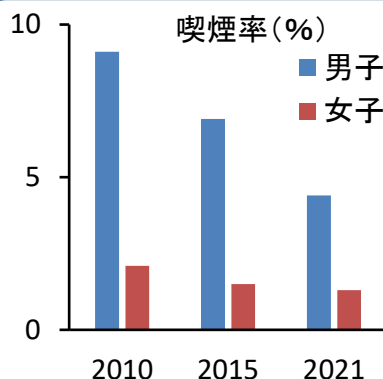
(電子メールアドレスは[at] を@に変更してください)

学生の健康白書2026

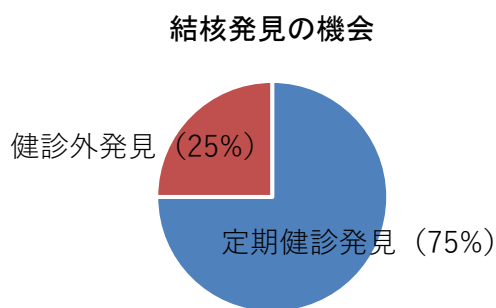
全国の国立大学法人の保健管理センターが共同して、5年毎に定期健康診断のデータを集計し、10年毎に「学生生活アンケート」を行い、学生の健康白書を作っています。今回はこの両者の調査を行います。大学生と大学院生の精神・身体健康状態を把握して、よりよい健康管理のための基礎的な資料を提供することが目的です。過去の健康白書はインターネット上に公開されています。（<http://www.htc.nagoya-u.ac.jp/hokenkanri/hakusho/>）



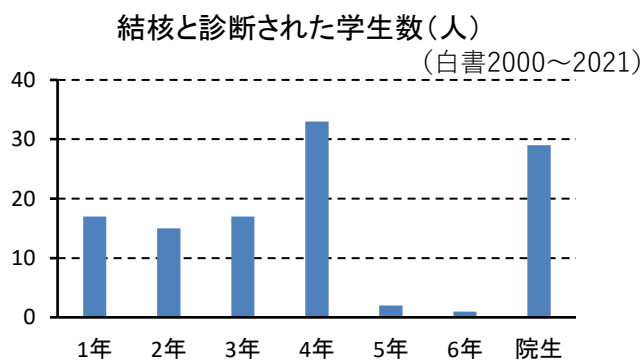
男子、女子ともに近年はやせが増加している。



喫煙や飲酒をしない学生が増え、運動する習慣のある学生は増えている。



結核の多くは定期健康診断で発見される。



結核は高学年でも発見される。

健康白書の作成には、氏名、生年月日など個人を特定できる部分を削除したデータが用いられます。文部科学省および厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいており、名古屋大学医学部生命倫理審査委員会の承認を受けています。もし、あなたの情報が集計に用いられることについてご了承いただけない場合は除外しますので、お申出ください。不利益が生じることはありません。但し、研究事務局（名古屋大学）でデータが集計されて以降は除外することはできません。